

## TOTO

## サーモスタットシャワー金具・バス水栓

TBXS40型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1

## 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

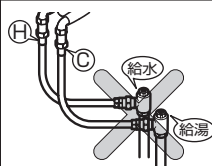
## 警告



禁止

## 湯水を逆に配管しない

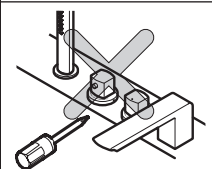
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



分解禁止

## 給湯温度は85℃より高温で使用しない

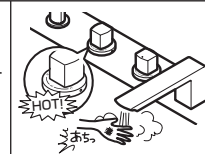
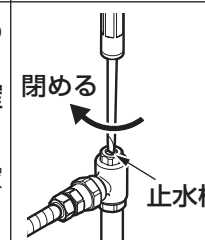
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない  
破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

## 警告



必ず実行

湯温が表示通りでない場合、必ず確認して調節を行う  
使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う  
また、本体および湯側止水栓が熱くないことを確認する

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

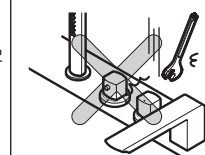
## 注意



禁止

## 強い力や衝撃を与えない

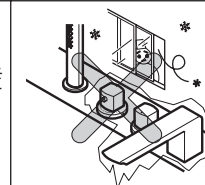
破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

## 凍結が予想される場所で使用しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



## 2

## 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1~40℃
用途		パブリックおよび一般住宅浴室用

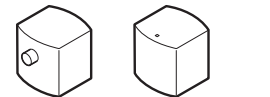





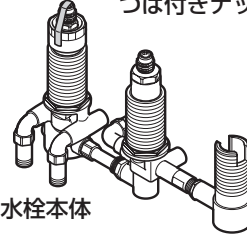


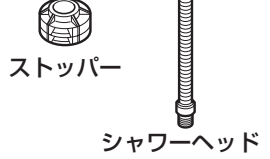

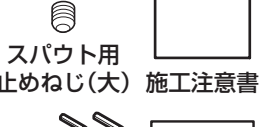



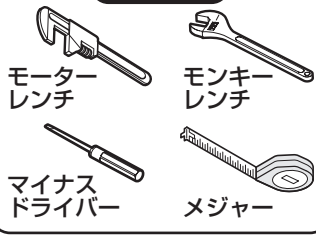
## 3

## 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。  
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。  
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を越えない設定をしてください。  
快適な吐水温度を確保するために50~60℃設定をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。
- 配管には必ず保温材を巻いてください。
- 器具の点検を容易にするために「点検口」を必ず設けてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

## 4

## 部品の確認

水栓本体部		シャワーヘッド部	
 <p>温度調節ハンドル 切替ハンドル</p>  <p>カバー カバー スパウト</p>  <p>台座(2個) スパウト軸</p>  <p>発泡パッキン(2個) スリップワッシャー</p>  <p>パッキン(2個) つば付きナット</p>  <p>スリップワッシャー(2個) つば付きナット(2個)</p>  <p>水栓本体</p>	 <p>シャワー台座 パッキン</p>  <p>スリップワッシャー つば付きナット</p>  <p>ストッパー シャワーヘッド</p>		
その他	止水栓部	現場準備品	
 <p>ハンドル・カバー用 止めねじ(小) 施工説明書</p>  <p>スパウト用 止めねじ(大) 施工注意書</p>  <p>六角棒レンチ (対辺2.5mm・3mm) 止めねじ</p>	 <p>止水栓 (2個)</p>	 <p>給水・給湯フレキホース</p> <p><b>使用工具</b></p>  <p>モーターレンチ モンキーレンチ マイナスドライバー メジャー</p>	

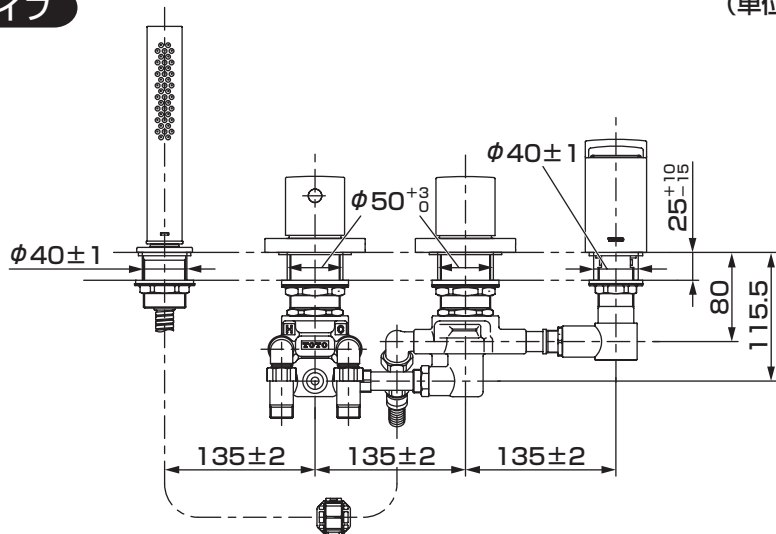
※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

# 5 完成図

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

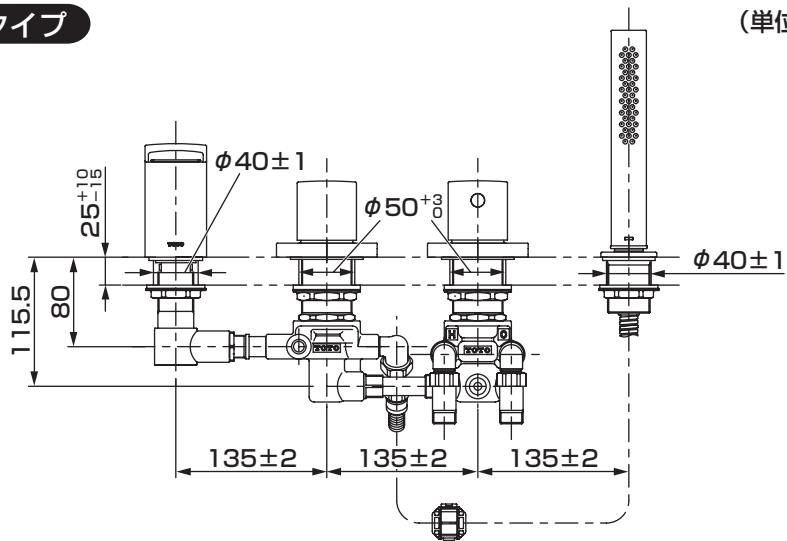
## Lタイプ

(単位：mm)



## Rタイプ

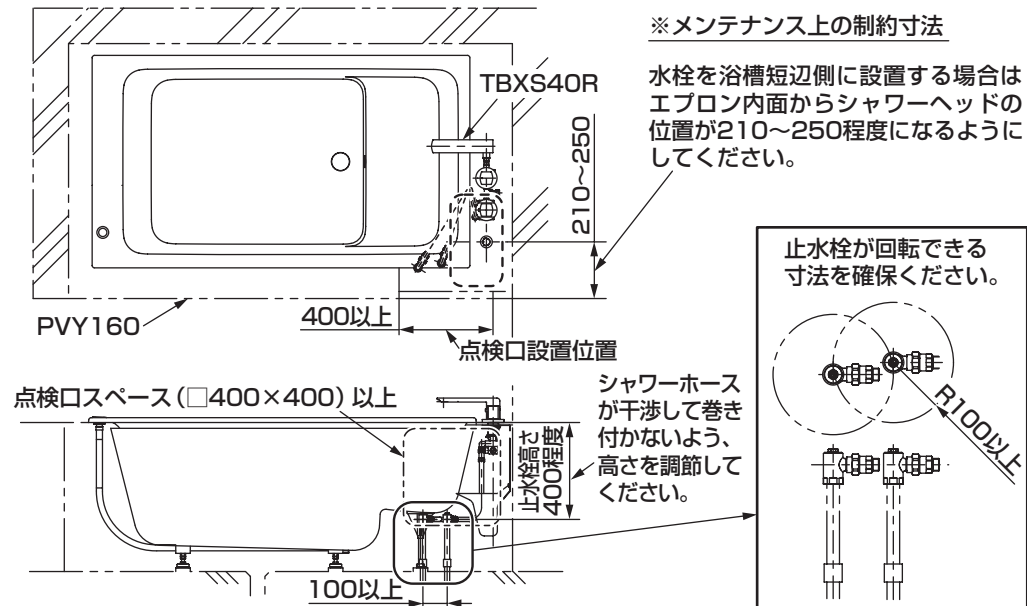
(単位：mm)



# 6-1 施工情報 (浴槽セット例)

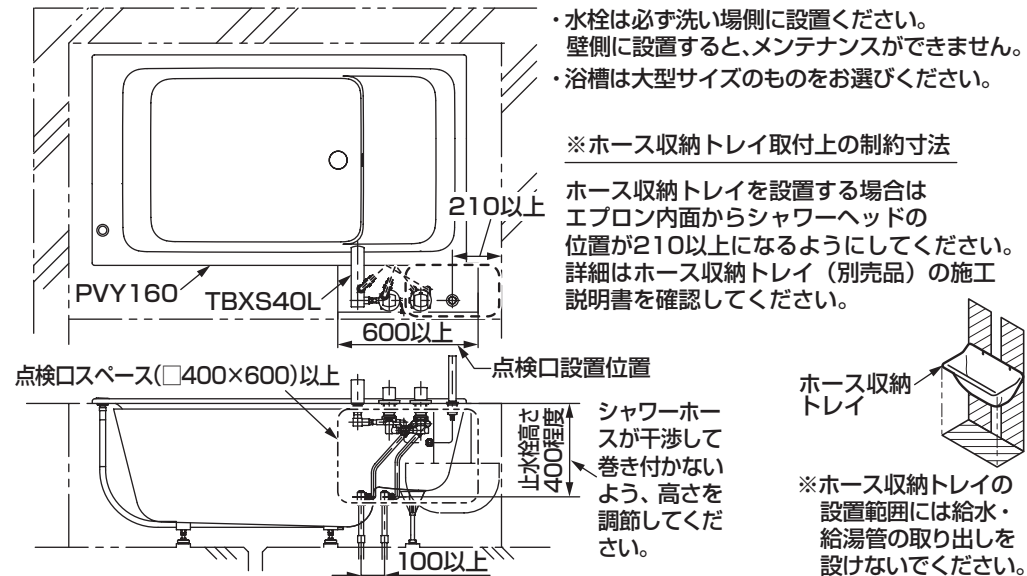
## 浴槽短辺側設置タイプ (Rタイプ)

(単位：mm)



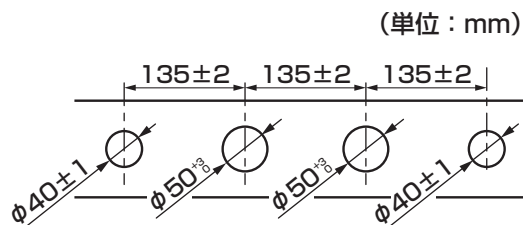
## 浴槽長辺側設置タイプ (Lタイプ)

(単位：mm)



6-2

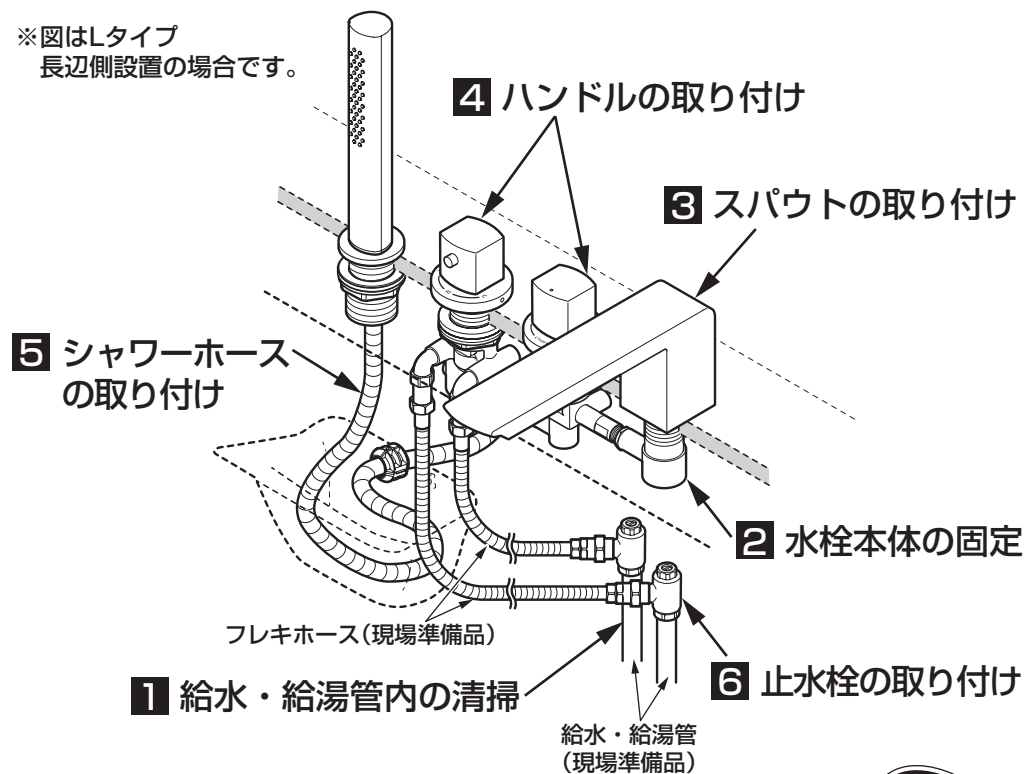
カウンターに取り付ける場合の穴あけ寸法をお知らせいたします。  
カウンター厚みは10mmから35mmです。



7-1

## 施工手順

※図はLタイプ  
長辺側設置の場合です。



### 1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

**重要**

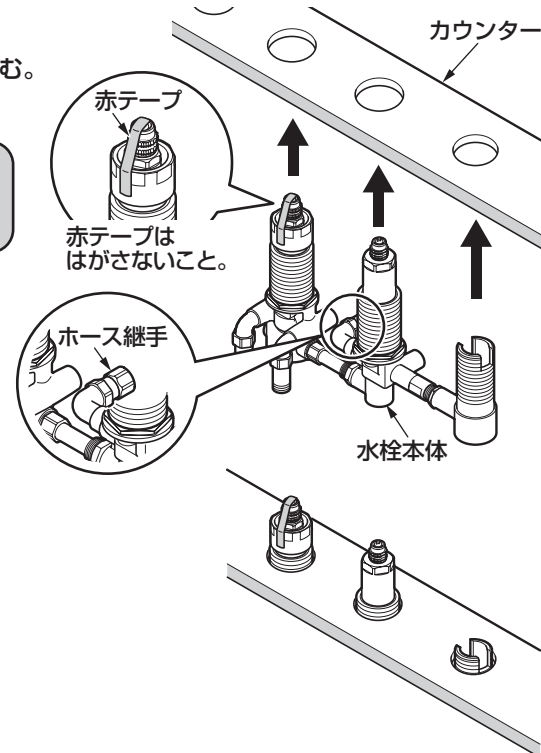
7-2

### 2-1 水栓本体の固定

①水栓本体をカウンター下から差し込む。

**注意**

ホース継手は、浴槽と反対の向きにしてください。

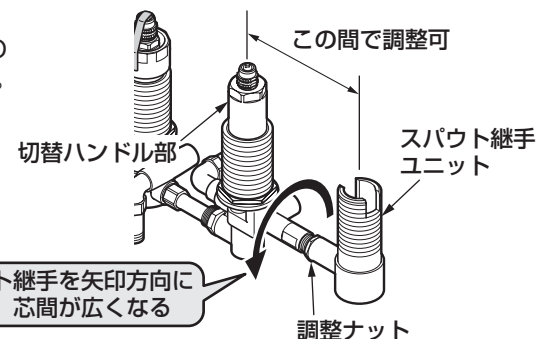


②水栓と開口穴の干渉を確認する。

#### 開口穴が干渉する場合

スパウト継手ユニットの調整ナットを緩め継手を回し寸法を調整する。  
芯間調整後は、スパウト継手ユニットの調整ナットは必ず締め付けてください。

スパウトと継手ユニットが開口穴と干渉する場合

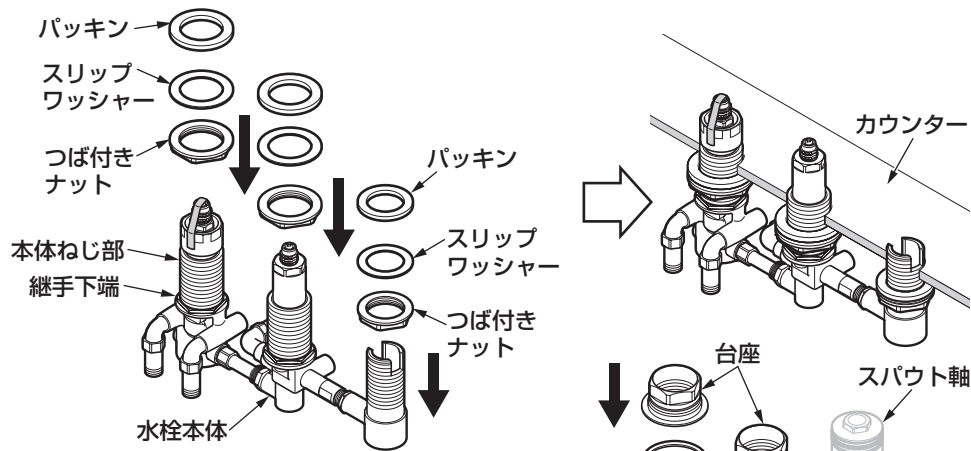


スパウト継手を矢印方向に回すと、芯間が広がる

スパウト継手ユニットは1回転で1mm動きます。  
2回転以内で調整してください。

## 2-2 水栓本体の固定 (つづき)

- ③ 水栓本体を一旦外し、本体ねじ部3カ所に、つば付きナット・スリップワッシャー・パッキンを取り付ける。  
つば付きナットは、本体ねじ部下端までねじ込む。
- ④ 水栓をカウンター下部から取り付ける。



- ⑤ カウンター上部から発泡パッキンを取り付けたあと、台座、スパウト軸を水栓本体のねじ部に回らなくなるまでねじ込み、工具を使用し、しっかり締める。

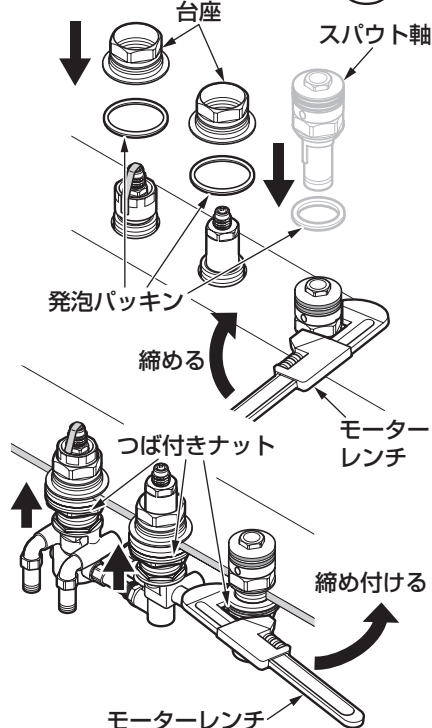
**注意**

台座の発泡パッキンのはみ出しがないか確認してください。

- ⑥ カウンター下部より、つば付きナットを工具を用いて締め付ける。

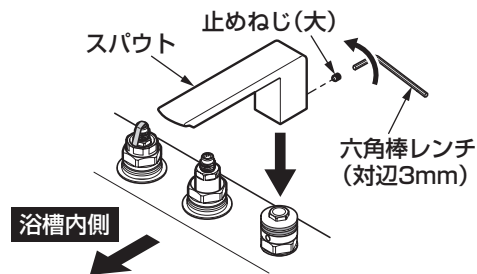
**注意**

- 水栓本体のガタツキがないか確認してください。
- 水栓本体に傾きがないか確認してください。



## 3 スパウトの取り付け

- ① スパウトを浴槽内に向けた状態で、スパウト軸に差し込む。
- ② スパウトを上から押さえた状態で、スパウトが水平になるように止めねじ(大)で固定する。

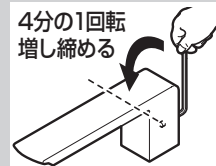


**重要**

スパウトは固定式です。取り付け後は、上や側面から強い力を加えたり回さないでください。カウンター仕上げ面が傷ついたり、破損するおそれがあります。

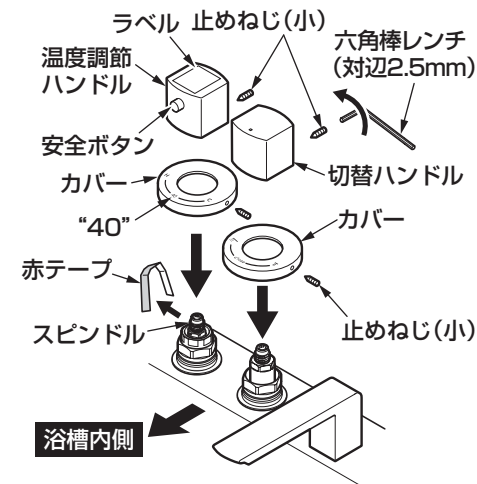
**注意**

止めねじを最後までねじ込んだあと、4分の1回転増し締めして確実に固定する。



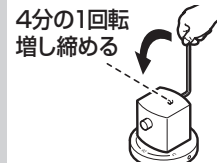
## 4 ハンドル部の取り付け

- ① カバーの絵・文字表示が浴槽内側になるようにし、カバーを取り付け、止めねじで固定する。
- ② 赤テープをはがし、温度調節ハンドルを取り付ける。
- ③ 温度調節ハンドルは、安全ボタンとカバーの“40”をあわせてはめ込む。
- ④ 切替ハンドルの“■”マークとカバーの“Close”をあわせてはめ込む。
- ⑤ 温度調節ハンドルと切替ハンドルは、六角棒レンチを使用して止めねじで固定する。



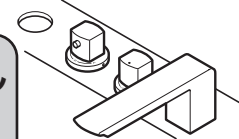
**注意**

止めねじを最後までねじ込んだあと、4分の1回転増し締めして確実に固定する。



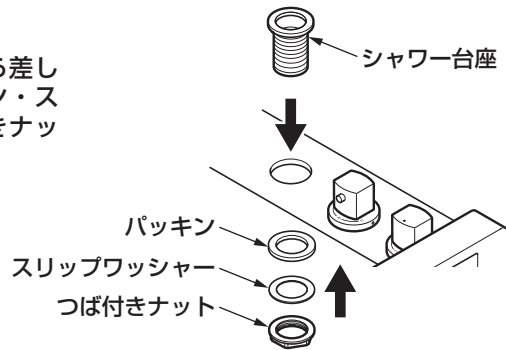
**注意**

温度調節ハンドル取り付け時は、スピンドルを回さないでください。

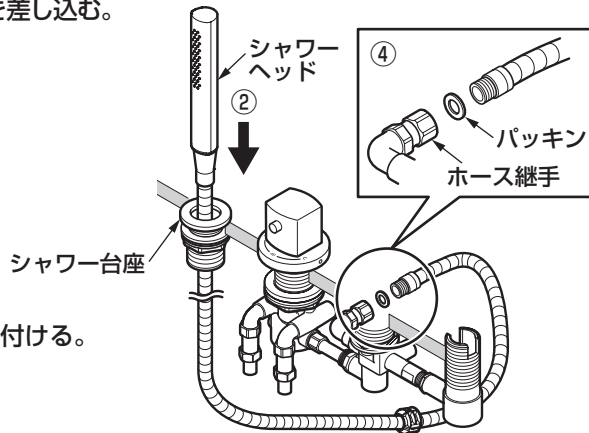


## 5 シャワーホースの取り付け

①シャワー台座をカウンター上部から差し込み、カウンター下部からパッキン・スリップワッシャーを入れ、つば付きナットを工具を用いて締め付ける。



②シャワー台座にシャワーホースを差し込む。

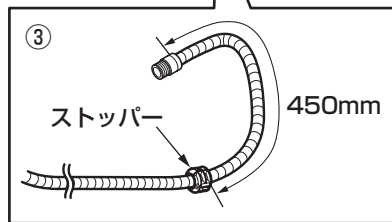


③ストッパーを右図の位置に取り付ける。

④水栓本体のホース継手に接続する。

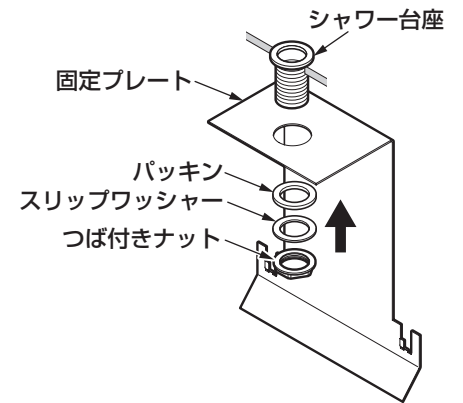
### 注意

パッキンが入っていることを確認してください。



## ホース収納トレイ(別売品)を設ける場合

①ホース収納トレイを設ける場合は、固定プレートをカウンター下部からシャワー台座に差し込み、5 シャワーホースの取り付けの①の要領で取り付ける。



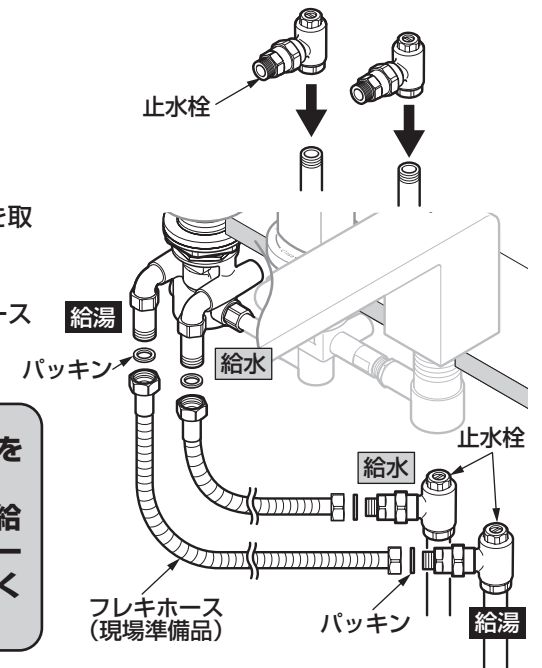
②収納トレイ取り付け後、収納状態を確認する。

## 6 止水栓の取り付け

①止水栓を取り付ける。

②水栓本体に給水・給湯フレキホースを取り付ける。

③水栓本体からの給水・給湯フレキホースを止水栓に接続する。



### 注意

- 必ずパッキンが入っていることを確認してください。
- シャワーホース出し入れ時に、給水・給湯フレキホースがシャワーホースと干渉しないようにしてください。

### 警告



水栓本体と止水栓の給水・給湯接続を逆接続しない

# 8-1

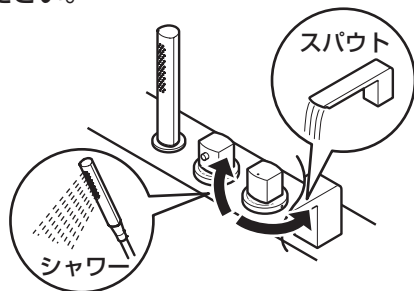
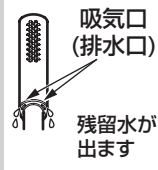
## 施工後の調節

### 1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、水漏れがないこと、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。

#### 注意

シャワーを止めたあと、一般シャワーヘッドとは異なり、シャワーヘッド根元にある吸気口より水が排出されます。故障ではありません。

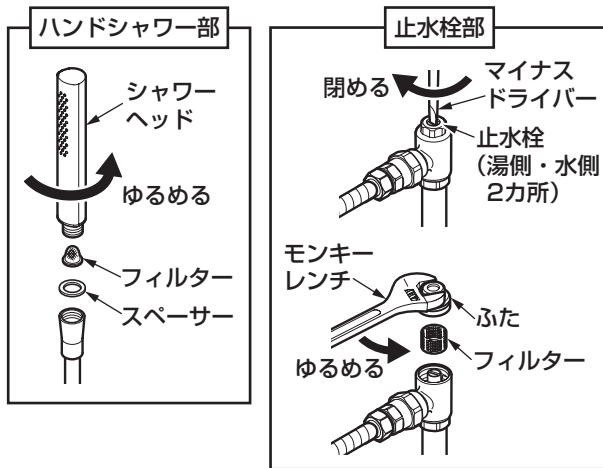


### 2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、モンキーレンチでフィルターを外してください。また、湯側フィルター部が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



### 3. 流量の調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で**止水栓**を調節してください。

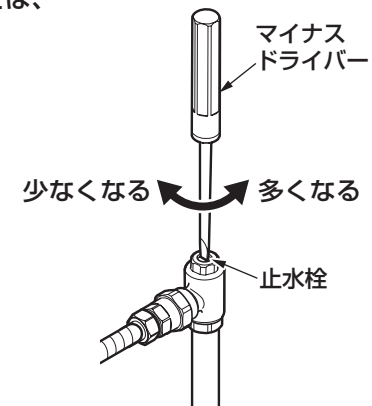
マイナスドライバーを差し込み止水栓を回す。

時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

#### 警告



湯側の調節を行うときは十分に注意する  
必ず実行 熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

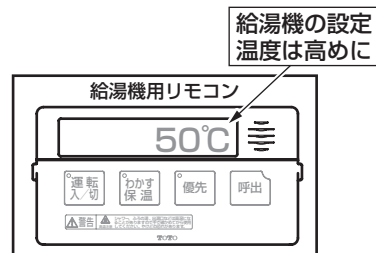


## 4. 吐水温度の確認

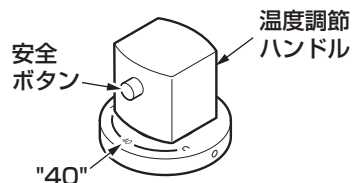
温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

### 1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。

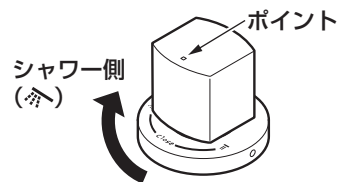


### 2. 温度調節ハンドルの安全ボタンを目盛り"40"にあわせる。



### 3. 切替ハンドルをシャワー側(🚿)いっぱいに戻す。

シャワーから水が出ます。



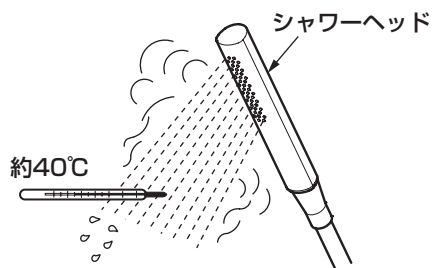
### 4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。

温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。

やけど防止のため、給湯機の設定温度は60℃を超えない設定をしてください。

給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



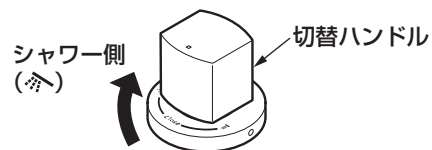


## 5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。  
TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

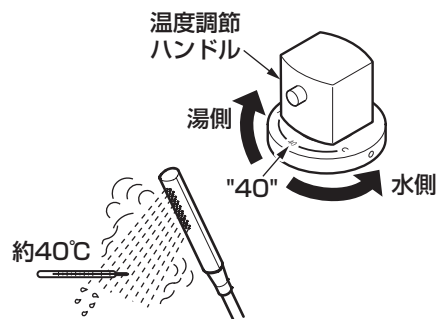
### 1. 切替ハンドルをシャワー側(☔)いっぱい回す。

シャワーから水が出ます。



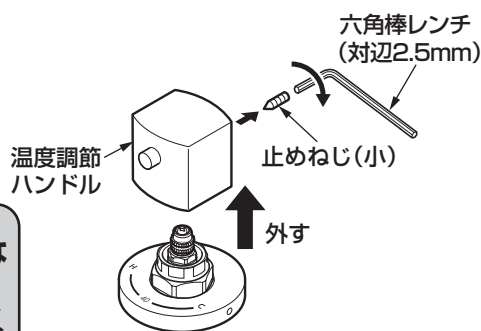
### 2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



### 3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意して、止めねじを外してハンドルを抜き取ってください。



#### 注意

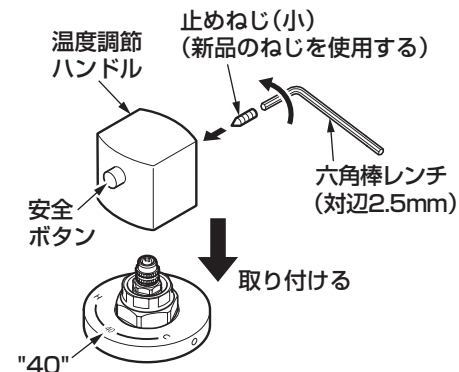
- 取り外した止めねじは再使用しないでください。
- 必ず同梱の止めねじを使用してください。

### 4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

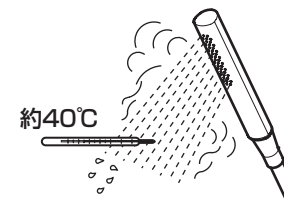
目盛り"40"の文字と安全ボタンをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、止めねじで固定してください。

#### 注意

止めねじを最後までねじ込んだあと、4分の1回転増し締めして確実に固定する。

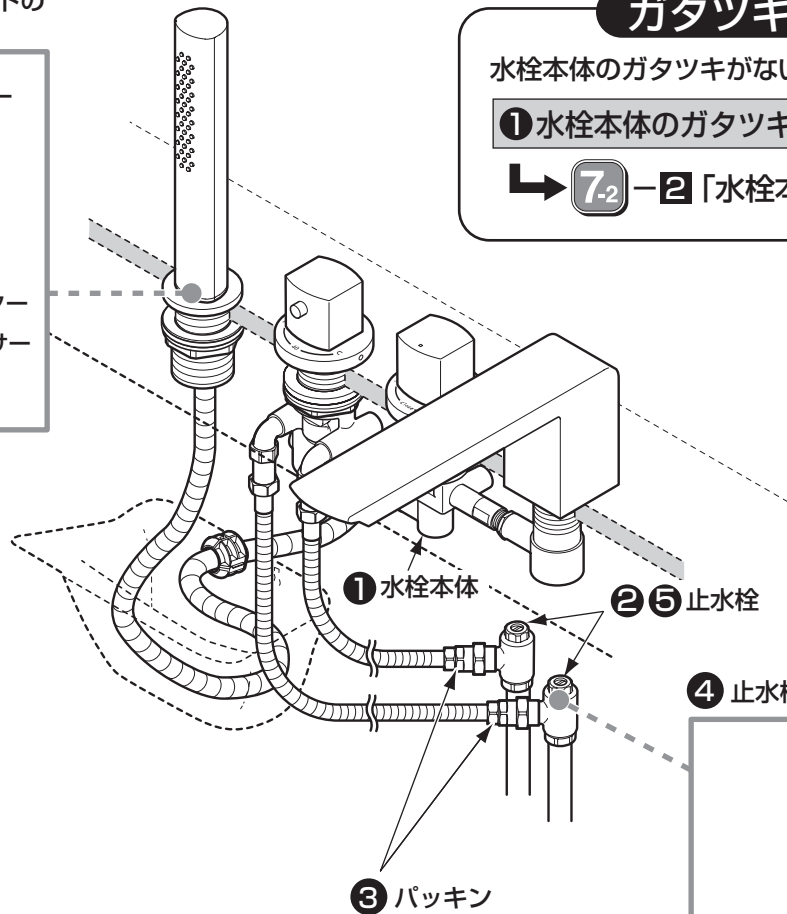
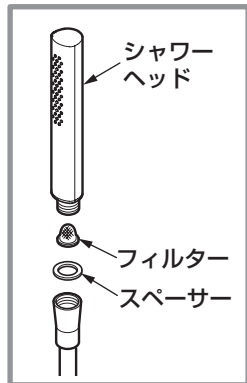


### 5. 固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。



取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

#### ④ シャワーヘッドのフィルター部



#### ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

① 水栓本体のガタツキはありませんか？

↳ 7-2-2 「水栓本体の固定」 参照

#### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 止水栓部の水漏れはないですか？

↳ 7-4-6 「止水栓の取り付け」 参照

③ 配管接続部にパッキンが正しく入っていますか？

↳ 7-4-6 「止水栓の取り付け」 参照

↳ 7-4-5 「シャワーホースの取り付け」 参照

#### 流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

④ フィルターのごみ詰まりはないですか？

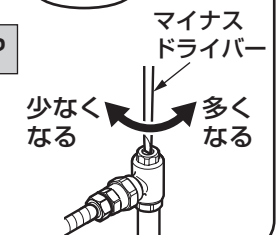
↳ 8-1 2. フィルターの掃除 参照



⑤ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する

8-1 3. 流量の調節 参照



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。



